

9月定例議会は9月2日から10月3日まで開かれました。山岡光広議員は、5つのテーマで一般質問に。また決算審査を中心にした厚生文教常任委員会では積極的に発言。さらに4日間にわたる予算決算常任委員会の集中審査では、委員長として全体をリード。交通安全に係る意見書の提案も全会一致で可決しました。

山岡光広議員が一般質問



日本共産党の山岡光広議員は一般質問で、
①学校図書活動推進と学校司書増員、②市職員の現職死と健康管理について、③「簡易委託駅」その後、④高齢者ドライバーの事故防

止のために「アクセル制御装置」設置に補助制度創設を、⑤子どもの通学の安全対策について、具体的な事実と資料をもとに、改善を求めました。

- ① 学校図書活動推進へ「学校司書の増員」を
- ② 市職員の「現職死」なくし、健康充実を
- ③ JRの「簡易委託駅」その後について
- ④ 高齢ドライバーのために「アクセル制御装置」設置のための補助制度の創設を
- ⑤ 子どもらの通学路の安全対策について

◆学校司書増員について

山岡議員が初めて一問一答形式で取り上げたのが学校図書館活動推進に欠かせない「学校司書」の増員要求でした。

昨年度まで7名で市内小学校27校を担当・巡回していたのに、今年から5名に減員。「甲賀市子ども読書活動推進計画(第三次)策定段階で「現状ではきめ細やかなサービスができない」と現場の司書らがパブコメで指摘しているにもかかわらず「計画の修正は行わない」と冷たい回答した市教育委員会の姿勢を批判するとともに、「早急に改善すべき、少なくとも新年度は7名体制に戻すべき」と求めました。

ところが教育部長は「現行5名が学校司書として責任をもってその役割を果たしていただいてる。来年度からのような体制が学校司書との意見

交換を重ねどのような対応が必要か検討していきたい」と具体的な改善を示さない答弁でした。山岡議員は、学校司書は専門職であり、平成26年に議員立法で出された学校図書館法の一部改正で学校司書が法制化されたこと、文科省からも交付にあたっての通知が出され、平成29年からは学校図書館整備5か年計画のなかで、学校司書配置のため国の財政措置が講じられていること、文科省は「概ね1.5校に1名の配置」を示している点からも「甲賀市で司書が減員となっていることは逆行している」と問題点を指摘。教育委員会の学校司書に対する位置づけを改めるよう求めました。

◆市職員の現職死をなくし、健康で働きやすい職場環境をつくることについて

甲賀市が誕生して以降、市職

員の「現職死」が9名、うち6人が癌で亡くなっている点、健康診断で受診8000人のうち201人が要検査となっている点をふまえて、健康で働きやすい職場環境をつくるために、前立腺がんや癌のリスク検査を標準健診に組み入れること、要検査となった人のフォローなどをすべき、と求めました。

◆「簡易委託駅」について

6月議会に続いてJRの簡易委託駅について取り上げ、「市の広報」で周知すること、JRとの契約条項の見直し、駅員の勤務時間と時給賃金(最低賃金)の見直し、甲南駅に時計設置、寺庄駅ホームの柵の改善などについても求めました。このなかで建設部長は、6月議会以降、勤務時間の変更、JR西日本に契約条項の見直しを求めたことを明らかにしました。

甲南ぷらら前

ここに横断歩道を設置して… 父母らが要望署名提出



甲南野田地先の子供たちが毎日通学している甲南プララ前の道路(写真左)には「横断歩道」がありません。保護者らが毎朝夕、身を挺して安全を確保していますが、「こんな危険な状態は放置できない。早急に横断歩道を設置して…」と200筆を超える要望書を添えて教育長に10月3日保護者らが教育長に要望しました(写真右)。この問題は山岡光広議員も9月議会に取り上げ、この日の教育長への申し入れにも同席、「何よりも通学の安全を確保することを最優先に対応を」と指摘しました。山岡議員は、PTAと教育委員会・警察などとの合同点検にも同行し、野尻交差点の待避場所の確保についても改善を求めました。



やまおかみつひろ

山岡光広

市議会議員 活動報告

2019年10月20日
第785号

日本共産党